

# なるほど! ザ・ファンド

# Q & A

Vol.229



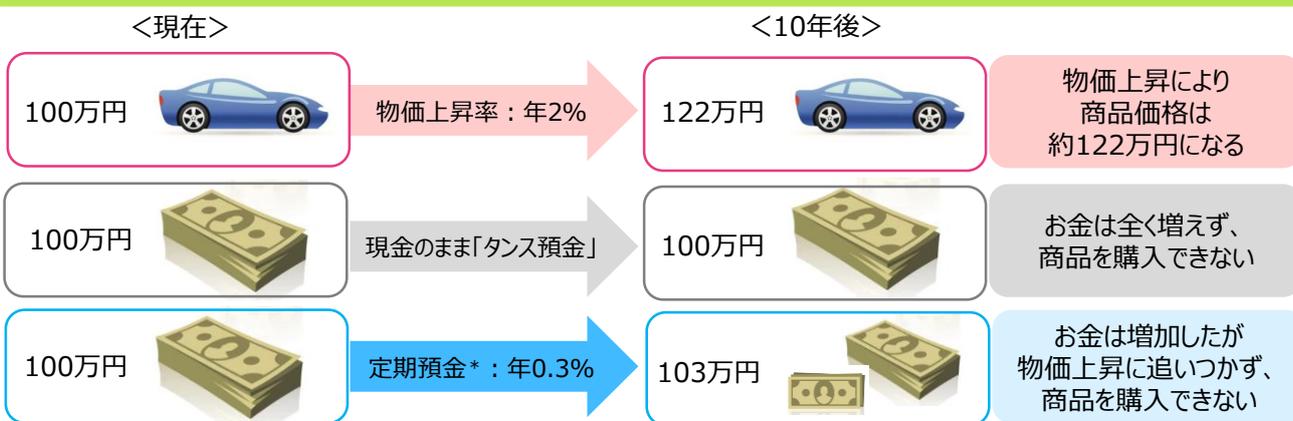
**Q. 現金のまま置いておくと「価値が目減り」するってどういうことですか？**



**A. お金を現金のまま置いておくと自然には増えないため、物価上昇が続く局面では、従前と同じようにモノやサービスと交換することができなくなることを指します。**

◆ お金の役割は、主に①価値の保存、②価値の尺度、③モノやサービスとの交換（価値の交換）、の3つといえます。お金は、現金のまま「タンス預金」として置いておくと、自然に増えることはありません。主な役割のうち③モノやサービスとの交換では、物価が上昇も下落もしない場合、お金の価値は変わらず、一定のモノやサービスと交換することができます。一方で、物価上昇が続くインフレ局面では、**運用することでお金を増加させなければ、物価上昇に追いつかず、実質的な「価値が目減り」する**と考えられます。

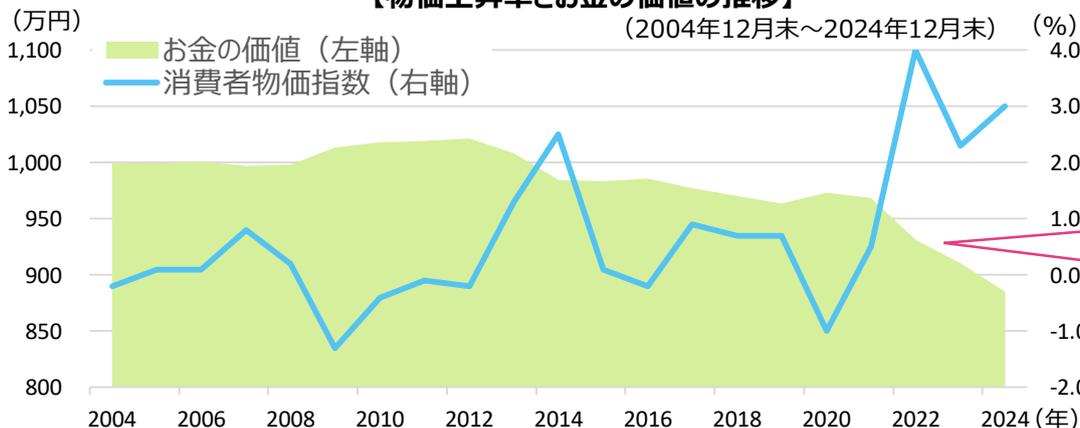
## インフレ局面では、物価上昇によりお金の価値は実質的に目減りすることも



\* 定期預金の金利は10年間変わらなかつたと仮定。

**お金の価値は実質的に目減りする**

### 【物価上昇率とお金の価値の推移】



2020年以降、お金の価値は実質的に大きく目減りしている。

(注1) お金の価値は、「1,000万円 / (1 + 消費者物価指数 - 預金金利) 期間」で算出。

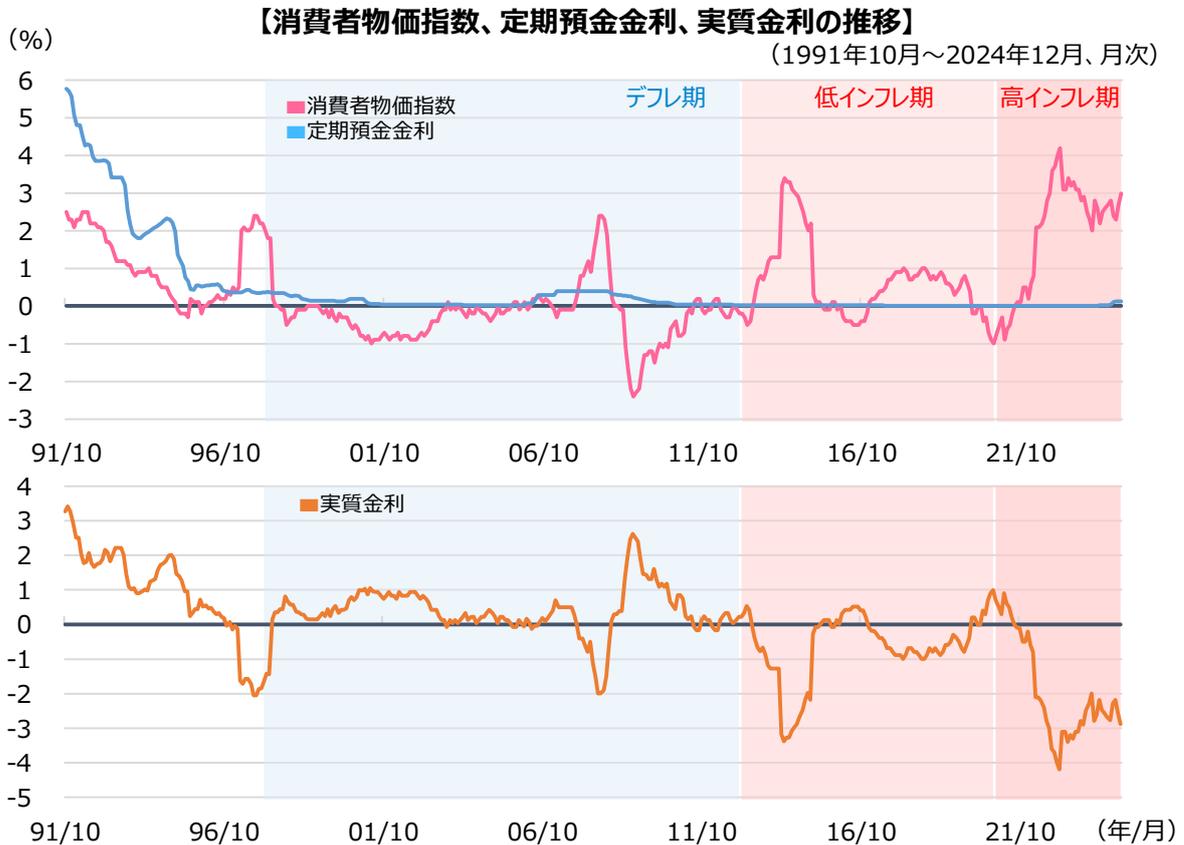
(注2) 消費者物価指数は、生鮮食品除く総合の前年同月比、預金金利は1,000万円以上、1年物を使用。

(出所) 日銀、総務省のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

- ◆ 日本では、長らく物価上昇率がプラスとならないデフレが続いてきましたが、コロナ禍からの経済再開を経て、世界的な物価上昇などにより、**2022年以降は物価上昇率がプラスに転じ、本格的なインフレ局面となっています。**
- ◆ 日銀は2013年以降、「2%の『物価安定の目標』」を掲げてきましたが、2024年以降は賃上げ機運も高まり、「賃金と物価の好循環」が意識されるようになり、物価目標の継続的な達成が見込まれるようになりました。**2024年以降は、マイナス金利政策の解除及び利上げが実施されたことで、預金金利も徐々に上昇し始めました。**



(注) 消費者物価指数は、生鮮食品除く総合の前年同月比。定期預金金利は、1,000万円以上、1年物。  
実質金利は、上述の定期預金金利から消費者物価指数の上昇率を差し引いて算出。

(出所) 日銀、総務省のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

- ◆ 本格的な「金利のある世界」が戻りつつありますが、**物価上昇率が預金金利等を大きく上回り、実質金利がマイナスとなっているなかでは、お金の「価値の目減り」に対処する必要があります。**

**【重要な注意事項】**

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。